

# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、市政に対する市民の意識とその動向を把握するとともに、積極的に「市民の声」を聴き、今後の施策策定並びに市政運営上の基礎資料とするため、毎年実施している。

## 2. 調査の設計

### ① 調査内容

回答者の属性 (フェイスシート)	問 1 居住するコミュニティ	問 6 同居家族の世帯構成
	問 2 性別	問 7(1) 住まいの種別
	問 3 年齢	問 7(2) 市内居住時期
	問 4 職業	問 7(3) 現住所居住時期
	問 5 同居家族の人数	問 8 暮らし向き
市民の防災意識について	問 9 これまでに大きな災害を経験したことがあるか	
	問 10 居住地域にどのような災害の危険性があるか	
	問 11 災害に対する準備をしているか	
	問 12 災害に関する情報の取得方法	
	問 13 地域の防災訓練に参加したことがあるか	
	問 14 地域の防災訓練に参加したことがない理由	
シティプロモーションについて	問 15 どんな防災訓練・行事であれば参加するか	
	問 16 「西宮コモンズ」を見たことがあるか	
	問 17 「西宮コモンズ」を見た理由	
	問 18 「西宮コモンズ」を見ない理由	
	問 19 西宮市内の情報を収集する方法	
	問 20 どのような情報に興味があるか	
「大学のまち」について	問 21 西宮市の自慢できるところ	
	問 22 大学とのどのようなかかわりに関心があるか	
	問 23 過去 1 年以内の大学とのかかわり	
	問 24 大学・学生が実施する関わってもよいと思うイベント等	
障害のある人に対する理解について	問 25 大学とのかかわりにおいて障害となること	
	問 26 障害のある人への差別や偏見があると思うか	
	問 27 どんな場面で差別や偏見があると思うか	
	問 28 障害のある人を手助けしたことがあるか	
	問 29 手助けをした理由	
	問 30 手助けをしなかった理由	
自由意見（記述式）	問 31 普段よく利用する情報媒体	

※本報告書では、問9～問31を分析対象とした。問1～問8は「回答者の属性」として全体値のグラフを掲載している。

## ② 調査方法

調査地域：市内全域

調査対象：平成 30 年 8 月 1 日現在の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の市民  
(外国人住民含む)

抽出方法：系統的無作為抽出（コンピューターによる等間隔抽出）

標本数：3,500

調査方法：郵送法（調査票の配布・回収は、すべて郵送による）

調査期間：平成 30 年 9 月 1 日～9 月 30 日

## 3. 回収結果

調査対象者数：3,500（昨年度 3,500）

回収数：1,834（昨年度 1,800）

有効回収数：1,831（昨年度 1,798）

有効回収率：52.3%（昨年度 51.4%）